

お知らせ

長浜市一般任期付職員（土木技術職）を募集します

東日本大震災の被災自治体へ土木技術に関する専門的知識や経験を有する人を派遣するため、「一般任期付職員」を募集します。

職種	採用予定人員	受 験 資 格
一般任期付職員 (土木技術職)	2人程度	民間企業や行政機関において、通算5年以上、道路、河川、上下水道等の土木工事の設計、積算、施工管理に従事した経験を有し、C A Dの操作ができる人 ※民間企業や行政機関等において培ってきた専門的な知識や経験を活用し、東日本大震災の被災自治体の復旧・復興業務を担う即戦力として活躍していただける人を求めています。

※「一般任期付職員の採用」とは特定の課題や業務に対応するため、専門的な知識・経験等を有する人を期間を定めて採用するものです。

■職務内容

○採用後は、宮城県気仙沼市において、土木工事にかかる設計、積算、施工管理等に従事。

○任期は平成25年1月1日から平成25年12月31日までの1年間。
(※5年を超えない範囲で任期を更新する場合があります。)

■受験申込受付期間

9月3日(月)～10月31日(水)

【受験申込書の配布】

受験申込書は市役所(本庁および支所)にあります。
※市のホームページからダウンロードすることもできます。

★受験申込書を郵送で請求する場合は
封筒の表に「一般任期付職員受験申込書
請求」と朱書きし、あて先を明記した返信用封筒(角形2号=33cm×24cmの封筒に120円切手を貼ったもの)を同封して、左記まで送付してください。

問長浜市職員選考委員会<市役所人事課内>
(〒526-8501 高田町12番34号 ☎65-6502)

就職活動応援します！
学生就職面接会
湖北就活ナビ

湖北地域の事業所の発展を担う若い世代の人材確保を目的として、就職面接会を開催します。

【申し込み】
事前申込不要。当日会場にお越しください。
※面接会の当日に履歴書を持参いただく必要はありません。

【対 象】
長浜または米原市内に就業場所を有し、右記の学生等を採用予定の事業所で、ハローワーク長浜に大卒等求人の申込みをしている、もしくは本面接会参加申込みと同時に大卒等求人の申込みをする事業所

【実施内容】
会場内に設置されたブースで、参加した学生等に対し、募集内容の説明と面接を行っていただきます。※面接会当日は履歴書の持参を不要としておりますので、ご了承ください。

【申込み】
所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、大卒等求人票の写しを添えて、10月5日(金)までに商工振興課に提出してください。申込用紙は市ホームページからダウンロードできます。
※先着50社

問商工振興課 (☎65-8766)

協働のまちづくり

～協働推進のための5つの柱～

協働を推進していくには、最低限守らなければならないルールが5つあります。それらを踏まえ、準備段階から十分な協議と合意形成を図っていく必要があります。

目的・目標の共有

協働で事業を行っていくためには、スタート時点で目的や目標を共有しておく必要があります。そこがずれたまま事業に着手すれば、途中で破綻したり、期待していた成果が得られないということにもなりかねません。

対等な関係の尊重

協働で取り組む場合は、自由に意見が言えるなど、お互いが相手をまちづくりの主体と認識し、対等な関係を保つよう心掛けることが大切です。

自主性・自立性の尊重

市と市民は、連携をとりながら、それぞれの特性を活かした取り組みを行います。また、市民は、市からの資金援助を受けることがあっても、市に依存することがないように、活動の自立をめざし、市はその姿勢を尊重していくことが大切です。

相互理解の推進

市と市民が共通の目的のために協働するには、お互いの立場や特性を理解し合い、尊重しながら取り組んでいくことが大切です。

情報の公開・共有

協働相手の選定から、実施結果までを積極的に公開し、市民に対する説明責任を果たす必要があります。そうすることで、市や市民に対する理解も深まり、次の協働事業につながります。

地域づくり協議会の活動紹介

地域づくり協議会とは・・・
住民自らが地域課題に取り組む地域づくりにおいて核となる組織。平成19年から各地域で設置されており、市内24地区中(概ね公民館単位または連合自治会単位を一つのエリアとする)、22地区で設立されています。

地域づくり協議会

今回はその内の一つ、熱心に活動されている浅井湯田地域づくり協議会の取組みを紹介します。

地域の課題

貴重な平地林である「ふくらの森」は、戦後、食糧確保のために開発の手が伸びましたが、一部は地域の人々によって護られました。その後、生活環境の変化で人の手が入らなくなり、木々が生い茂り、ゴミ等の不法投棄の場となっていました。

課題解決に向けて

2年前から浅井湯田地域づくり協議会が中心となり、この貴重な自然遺産を保全し、森を地域住民の交流と憩いの場、地元の子どものための環境教育と自然観察教育の場とするために、ボランティアによる再生活動を始められました。

新たな活動へ

今年度からは長浜バイオ大学の学生たちと森の再生活動や新たな活用方法と情報の発信等に向けての協議が進められています。また、より多くの住民に、祖先からの遺産としての「ふくらの森」を知り、再生保全活動に参画してもらうための活動が進められています。